

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体で(作り上げた理念があります)	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝 申し送り時にスタッフ全員で唱和し、意識づけを行っています	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を玄関や見えやすい位置に張り出し、入居時は本人・家族に対して説明し、ご理解を頂いています	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板を通じて気軽に挨拶が交わせるようにスタッフ全員心がけております	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会活動・廃品回収・地域奉仕作業など積極的に参加し、交流を心がけております	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人クラブ行事に可能な限り参加させていただき、情報交換に努めております		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価の意義について確認し、意見を出し合い、意識向上に努めております		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム内の現状や外部評価について報告し、意見をいただき、申し送りやミーティングにて協議し、サービス向上に努めています		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への出席依頼に市町村に足を運び、活動内容を報告いたしております。同時に介護保険課・保護課・高齢者福祉課との連携にも努めております		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に利用されておられる方もあり、ご面会時にご指導いただいております。また、今後、利用予定の方もあり、さらに研修への参加の機会を増やしていきたいと思っております	○	研修への参加の機会を増やして、自己研鑽に勤めていきたいと思っております
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフミーティングや申し送りを利用し、高齢者虐待法に関する理解・浸透・遵守に努めております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は一緒に読み合わせを行い、質問しやすい雰囲気、安心して契約できるように努めております。解約時と同様に心がけております		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設けて、本人・家族が意見を出しやすいように働きかけています		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、随時、近況報告を報告させていただいております。また、金銭出納帳も提示し、残高確認をしていただいております		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員会を設置しており、ご家族が意見・不満を自由に表出できるように努めております		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフからの意見や要望を、管理者会議等で随時報告しています。スタッフが自由に意見を出しやすい空間作りに努めております		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	グループホームの基準以外にも、必要に応じて柔軟に勤務調整を行い、サービスの質が低下する事の無いように努めています		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視し、移動による混乱は避けるように努めています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入社時のオリエンテーションや、入社後の研修を行い、本人の意識の変化を確認し、質の向上に努めています。働きながら資格を取った職員もあります</p>	<p>○</p> <p>勤務体制でなかなか研修への参加が少ない部分もありますが、参加する職員が固定化している部分もありますので、今後働きかけていきたい</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島県・市のグループホーム協議会に加入し、随時勉強会や研修会に参加いたしております。近隣のグループホームとの相互訪問の計画が実行できておりません</p>	<p>○</p> <p>相互訪問の計画はあるものの、日々の業務に追われて実施ができないままになっています。スタッフの要望も強い為、是非実行して行きたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者による管理者へのアンケート調査や随時相談できる窓口もあり、管理者会議では活発な意見交換がなされています</p>	<p>○</p> <p>親睦の機会を増やし、気分転換を図りたいと思います</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>法人全体で認知症ケアに関する研修会も開かれ、認知症高齢者マニュアルも作成されております。しかし、どんどん重症化する現場では、体力限界との声も聞かれており、一息入れる空間をつくりたいと思います</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に必ず本人との面談し、アセスメントするように努めております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族の思いを「聞き出す」姿勢ではなく、思いをゆっくりと「聴く」姿勢に努めたいと思っておりますが、予約以外の場合、業務に追われて気持ちにゆとりがないと思います</p>	<p>○</p> <p>安心して相談できる空間を工夫したいと思います</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	真のニーズは何かをしっかりと見極めて、多様なサービスの情報を提供できるように努めております	○	介護支援専門員として多様なサービス情報の収集を続けていきたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	最初は家族だけで相談に来られる事も多いですが、本人にも足を運んでもらい、雰囲気を体験していただき、納得した上で入居していただけるように心がけております		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	認知症高齢者マニュアルを熟知し、本人の空間を大切に大切に考えております。一人一人としっかりと向き合い、「我が身に置き換えたケア」を目指しております	○	職員の視点で、業務のみを優先していないか、と振り返る気持ちのゆとりを持ちたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入所後も継続して家族との絆がとぎれる事のないように、常に脇役として支えて行くという自然体の気持ちで支援致しております	○	県外に居住される家族と本人との絆を継続できるように、はがきの返信が書けるように継続して支援が出来るようにしたいと思っています
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	私たちは「日々の支え」になれても、「家族にはなれない」事を理解して頂き、共に支えていくと言う気持ちで支援致しております		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所後も継続して、在宅の延長線上であり続けられるように、自由な面会の支援に努めております		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いの存在を受容し、快適な空間で過ごせるように、個性を上手く引き出せるように、職員が調整役となっております	○	日によって状況がめまぐるしく変化する為、職員間の申し送りを有効にする手立てを模索している所です

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も継続して、ボランティア等に参加していただいたりしております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	聾啞の方がおられ、なかなか思いを汲み取る事が難しいですが、筆談を通して思いを確認し合ったり、家族の面会時に一緒に確認させていただいております。	○	もう一度手話の勉強をやり直したい機会になったと思っております。職員も本人に教えてもらいながら勉強中です
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用申し込みがあった時点で、出来るだけ在宅訪問等を行い、本人の生活導線をアセスメントし、馴染みの暮らし方を継続できるプラン作成を心がけております		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	朝の申し送りの内容を見て、日の生活リズムを把握し、一日の活動量を判断し「持てる力」の引き出しに努めております	○	以前は積極的に洗濯物たたみ等をしたり、庭の草取りをされていた方の意欲の低下が著明で、臥床が傾向強くなっている。起こしてでも活動させたい家族と、好きにしたい本人の意向が噛み合わない。もっと身近な出来る力を見出して行きたい
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、形式に拘らない自由な意見交換の場を設けて、プランを完成させております		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	一時的に出来なくなっているのか等、その時々々の気付きの情報を共有し、総合的に判断した上で、随時プランを変更致しております		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランに添って評価する気持ちで書く事を指導しているつもりですが、個人差があり、重要と感じる度合いの差が大きく、申し送り欄に記載されていない事もあります。	○	漫然と記録されていたり、具体性に掛ける記録についてはしっかりと助言を行って行きたいと思います。まずはわが身の記録の振り返りからと思っています
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	歯科衛生士の配置で、口腔ケアを徹底し、不具合があればすぐに歯科医師との連携を図り、柔軟に受診体制を整えています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察署に徘徊老人の届出を行ったり、消防の協力をお願い致しております。民生委員さんや老人クラブ会長さんにも協力を頂いております		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今の所特にありません		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在特に希望される方はいらっしゃいませんが、今後、運営推進会議に参加していただいた時に、地域の情報を収集し希望があれば支援して行きたいと思っています		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医師により、継続して医療が受けられるように、かかりつけ医を基本と致しております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医の指示に基づき。微妙な内服調整や身体状況の変化を逐一報告すると同時に、家族にも受診同行していただき、適切な指示や助言をいただいております		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携加算体制を取っており、24時間いつでも対応できます。また、入居前からの医師・看護師の往診を継続しており、往診時に医師・看護師との連携を図っております。定期受診以外にも気軽に相談できるオンコール体制を取っており、疾病悪化予防に努めております		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には看護師が付き添い、治療に必要な個人情報を提供する事で、短期間に入院目的を達成し早期退院できるように支援いたしております。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に終末期のあり方を確認させていただいております。主治医・家族・職員を含めて状況変化の度に治療方針を確認し合い、最大支援方法をプラン化致しております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期や看取りについてのマニュアルを作成し、医師の指導の下、職員への指導・助言を行っております。同時に他の入居者様への影響もふまえつつ、安心して最期を迎えられるように支援いたしております		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今のところありませんが、リロケーションダメージが最小に抑えられるように、同意を得ている範囲の個人情報の提供を行いたいと思います		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>一人一人の誇りを尊重し、プライバシーの保護を徹底する事は、個人としての尊厳と権利を守る為の基本として、我が身に置き換えたケアを心がけております</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>聾啞の方がおられ、なかなかコミュニケーションが図りにくいですが、筆談・表情・非言語的手段を用いながら、思いを理解し自己決定ができるように配慮いたしております</p>	○	<p>スタッフも初めての聾啞者という事で、コミュニケーションに苦勞しておりましたが、本人・家族に教えてもらい、それを他の職員に教える等、勉強させていただく機会になったと思います。管理者自身がもう一度学び直したいと考えております</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>個人差が大きいので、全員を同じペースで支援する事自体が不可能であり、職員が本人のペースに合わせて業務を変更致しております</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>美容院に出かける事自体が難しい状況であり、出張サービスを利用していただいております。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>最大の楽しみである食事をいかに楽しく、おいしく食べるかを常に考え、一緒に献立を検討するようにしております。日の状態に合わせて食事量・形態・食器を替える等、自己摂取できるように支援いたしております。</p>	○	<p>今回、給食担当者の研修があり参加いたしました。早速検討して行きたいと考えております</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>職員・家族と一緒に買い物に出かけて、好みの物を購入し楽しまれております。個人の時間に合わせて居室に、お茶やおやつを楽しめるように支援いたしております</p>	○	<p>夜中でもおやつを食べて水分を摂る習慣があり、トイレに行く度に食べておられますが、記憶に無い為、口腔ケアが徹底できない事があります</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のサインに早く気づき誘導する事で、オムツの使用を極力減らすようにし、最後まで残ると言われる羞恥心を大切にされたケアに努めております。	○	下剤調整の関係でパット使用をしますが、改善後も時々装着したままになっている事があり、「何故？」と確認しないままで誰かが気づく迄そのままの事もありますので、注意していきます
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝のバイタルチェックで順番を変更したり、チームプレイでタイミングを見計らった柔軟な入浴支援に努めております	○	現在の浴槽や浴室物品ではどうしても寝たきり状態の方の入浴を充実させる事ができておりません。疲労感も考慮しつつ、部分清拭を時間をかけて行っております。ますます重度化する中で、どのようにして入浴の質を高めて行くか思案致しております
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人がくつろぎやすい場所に、自由に移動できるように配置してあります。時々トラブルになりそうな場面もありますが、さりげなく仲裁に入り、お互いが快適に過ごせる空間作りに努めております	○	空調の吹き出しに近い方が寒いとの訴えがある時は、職員が一方向的に決めつけないで、様々な座席の角度から、温度調整を行って行きたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	電話がかけられる方、買い物に参加できる方、献立を提案できる方、下膳できる方、家族への手紙が書ける方、回覧板回し等その時々で「できる事」を相談しながら支援しております		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布をなおした場所を忘れて興奮したり、財布を探して部屋中の荷物を散乱させたりしますが、気持ちが落ちついた所で、一緒に片づけさせていただいております。いつの間にか財布にお金も入っており、一緒に買い物に行かれる事もあります		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気を見て、屋外でお茶の時間を設けるようにしたり、ドライブや買い物、受診・地域への行事参加など可能な範囲で支援いたしております	○	一人に混乱が起きると次々に混乱が広がり、目が離せない危険な状況が半年近く続いている為、最近では外出も限られてきました。もう少し、安定したら今のADLにあった方法で支援して行きたいと思っています
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	県外や海外から帰国された家族と1泊で温泉に行かれる事もあります。夜間の排泄状況や睡眠状況等、必要な情報を伝えて楽しんでいただきました。	○	レストランでの食事が大好評で、また、「行きたい」との意見もありますので、今度は店内のショッピングも計画したいと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由にかかけられるように、いつも電話の前に椅子を準備いたしております。また、子機で居室でもゆっくりと話せるように支援いたしております。手紙は気持ちが乗った時に書いていただいています	○	家族から月2回の絵手紙が届きます。とても楽しみ読まれているのですが、達筆で絵も習っておられたので、すらすらと書かれます。しかし、すべてに動作緩慢で意欲低下が著明であり、出来るだけ意欲を引き出したいと思えます
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	「玄関で笑顔でお迎えする」という基本姿勢で、面会に気やすい雰囲気作りに努めております。また、お部屋にお茶を準備し、ゆっくりと語らっていただけるように配慮いたしております		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員身体拘束により、身体的・精神的苦痛について理解しており、共通の認識を図っています。常に「家族・我が身に置き換えたケアを考えた支援に努めております		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自分でドアのスイッチを操作して自由に出入れます。夜間は防犯の為施錠を致します		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に職員が入居者を見守りやすい位置にいるように努めております。その際、プライバシーの侵害になる事のないようにさりげない見守りを行っています		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	現在 異食行為のある方はいらっしゃいませんが、危険と判断される物については、保管場所を定めております。常に、危険を予測した視点で安全を守れるように心がけております		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	年2回の消防訓練や、ミーティングにて安全対策マニュアルについて確認いたしております。また、緊急事態に、まず、何をすべきか日常的に意識するように努めています。	○	一瞬でも停電になると地下水が止まる事を認識していなかった新人職員もありました。誰でも復旧作業が出来るように、繰り返し研修が必要であると考えています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師は随時研修を受けて、対処の一覧表を作成し、それを基に職員に対して研修の場を設けております。また、24時間ホットラインが開設されており、緊急時に備えております		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を行い、緊急連絡網で連絡が取れる体制を整えております。地域にも情報をお伝えしております		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	身体状況の変化に気づいた時点ですぐ家族に報告しております。また、起こりうるリスクについても、一緒に話し合いの場を設けております。	○	本人が「訳がわからなくなった。今、家族を呼んで」と興奮して、屋外に駆け出される事もあります。家族が来られると平静に話されるのですが、記憶に残らず、また、興奮につながり同じ事の繰り返しです。家族なりの治療方針があり、なかなか解決の糸口が見いだせずにありますので、継続して家族と連携を図りたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフ全員の「小さな気づき」で早期に改善につながる事が多々あります。そこで得た情報をしっかりと申し送る事の重要性を認識できており、看護師・管理者への報告も徹底しております		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が、内服一覧表を作成し、疾病や副作用などを把握出来る体制を整えております。また、受診時の主治医からの指示や内服の変更は記録として残し、共有出来るように努めています		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状況を常に確認し、個別に食材や量を検討したり、適度に運動や水分補給に努めたりして、排便コントロールを行っています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後に口腔ケアを行っています。歯科衛生士が出勤している時は特に歯茎のマッサージを行い、義歯だけでは無く、歯ブラシやクリーナーも定期的に洗浄を行っています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は、毎回確認後記録しております。また、栄養バランスを考慮して、献立も偏らないように、馴染みのある献立を心がけております		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルに添って随時看護師から指導を行うようにしております。また、インフルエンザ予防接種についても、家族の同意を得て注射を行っています。また、手洗い、うがい、水分補給、空調調整など基本的な事に早期に取り組み、悪化予防に努めております	○	入所の段階で、若い頃、結核などの既往がないか等しっかりと確認して行きたいと思えます
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫内をしっかりと確認し、賞味期限が過ぎる事のないように、食材は毎日買い物に行き、新鮮で旬の材料を使うように心がけております		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	「玄関はその家の顔」と言われることわざを大事に、季節の花を植えて、今は見られなくなった「石臼」を置いて、家庭的な雰囲気づくりに努めております	○	玄関の外のコーナーに、ゆっくりとくつろげるテーブルや椅子を常設したい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関正面内の壁に、入居者の方が地域との交流会で作られた「一輪挿し」を飾り、優しくお出迎えが出来るように、雰囲気大切に致しております	○	入居者の重症化もあり、浴室内手すりや、補助具を整備して行きたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを増やした事で、気の合う利用者同士で談笑される場面も多くなりました。また、お気に入りのソファを自宅から持ち込まれくつろいでおられる方、居室に戻らずホールのお気に入りのソファで寝ころぶ方等、自分スタイルで過ごされています	○	場所の関係で、若干テレビを見にくい方もあり、随時検討をして行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に居室を見ていただき、馴染みの物を持ち込んでいただいております。本人の意向を確認しながらその人らしい空間作りを心がけております		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	必要に応じて窓の開閉を行い、出来るだけ自然の風を取り入れたりして、空調調整も個人に合わせ、時間で調整するように常に心がけております		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今回、車椅子介助の方が入所されましたが、廊下やトイレの空間が広い為、トイレでの排泄が自分で出来たことで、拭き取りの介助もいらなくなり、手すりを使って立ち上がり訓練を行ったり、オムツからリハビリパンツへ変更する事ができました。	○	まだ、入所後間もないので、病院でもリハビリに消極的で「人」に対する拒否が強かったので、信頼関係を構築しながらゆっくりと進めていきます
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	「トイレ」の張り紙をしたり、居室がわからない方には、個別の物で目印をつけて、迷われていたらさりげなく付き添い、混乱を最小限にとどめるように心がけております	○	各居室表札が固定されているので、新しい入居者個人に合わせた視点の位置に、表札を替えていかなければと思っております
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りを自由に散歩出来る方が少なくなり、花壇の位置をホールに移す等して、季節を楽しんでいただいております。玄関の外には長テーブルを設置出来る空間があり、桜島を眺めながらおいしいお茶をいただけます	○	庭を入居者が安心して散歩できるように、門の整備、段差を解消したい

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

重症化する中で、徘徊・不穏行動等日内変動も激しいですが、業務を優先する事なく、入居者の空間を共有できるように、常に、我が身・わが家族に置き換えて、同じ目線で、自然体で支援するようにと心がけております。そして、何よりもスタッフが笑顔で働ける事がケアの基本だと思っております。足を運んでいただいた方が、「ほっ」と出来る空間作りに努めております。